

あお

県民
だより

2016
4
月号
No.156

CONTENTS 目次 平成28年4月1日発行(偶数月1日発行)

特集：人幸増加大作戦！／平成28年度一般会計当初予算	1～3
人口減少克服に向けた3つの戦略プロジェクト	4～5
地域県民局の取組	6
創造的復興に向かって！～東日本大震災から5年～	7
県立高校に関する次期計画を検討中です！	
大雨洪水に備えて～身近な河川の水位等をチェックしよう～	
おいしく健康「だし活」ごはん！／あおもりインフォメーション	8

人幸増加大作戦！

申吾の
ほっとコラム

子どもいきいき青森

「私は日本が子どもの天国であることをくりかえさざるを得ない。世界中で日本ほど、子どもが親切に取り扱われ、そして子どものために深い注意が払われる国はない。」

「私はこれほど自分の子どもに喜びをおぼえる人々を見たことがない。(中略)他人の子どもにもそれなりの愛情と注意を注ぐ」長い引用となったが、それぞれ大森貝塚発掘で有名なモース、日本を旅し、青森も訪れたイザベラ・バードの言葉である。

この二人だけではなく、明治の初めに日本を訪れた数多くの西洋人による類似した言葉が残されている。

現代の目から見て、彼らを感じたように子どもたちの楽園であったかの議論はさておき、子どもが子どもとしていきいきと輝き、親だけではなく社会においてとても大切にされていた姿を想像することは許されると思う。

今、日本の地方はそれぞれに人口減少社会対策という、大きな長期的課題に挑戦しようとしている。

その時、最も重要なことは、子どもたち、つまり「未来」に選ばれる地であることだと確信する。だからこそ現在、青森の未来を担う子どもたちが、青森で生まれ、希望をもって成長し、その希望をふるさと青森の地で実現できるよう地域をあげて支援するとともに、子どもたちの希望を実現するための環境を整える取組である「子ども・未来の希望プロジェクト」を展開している。

近い将来この地を訪れた現代のイザベラ・バードが、いきいきと暮らす子どもたちに感嘆する、そんなふるさと青森をめざし、チャレンジし続けたい。

青森県知事 三村 申吾

表紙：三村申吾知事と中泊町立小泊小学校平成27年度4・5・6年生の皆さん

